

診療報酬調査専門組織（DPC評価分科会）座席表

（日時）平成22年8月3日（火）14:00～16:00

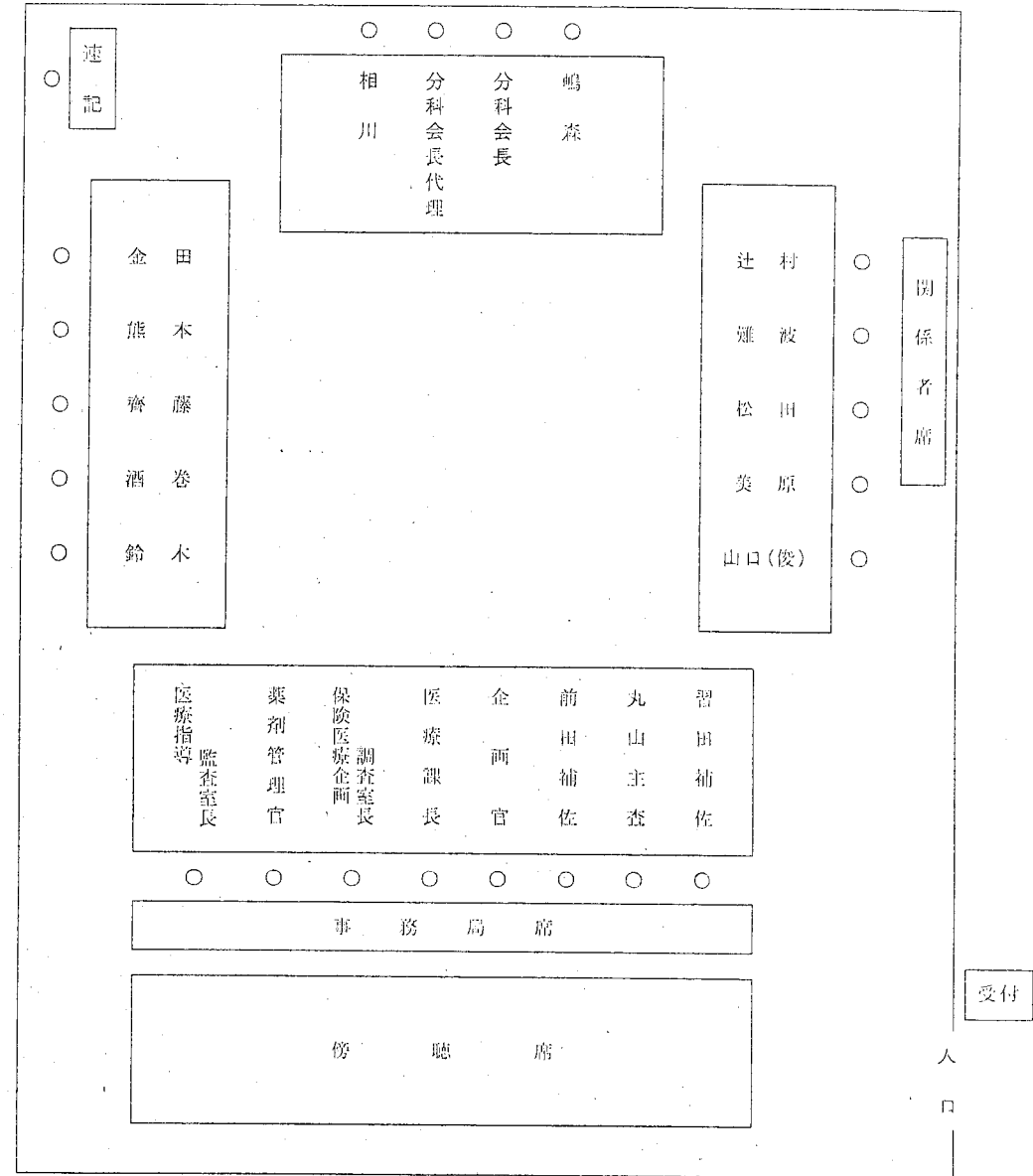
（会場）厚生労働省専用第18・19・20会議室（17階）

平成22年度 第5回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

日時：平成22年8月3日（火）14:00～16:00
 場所：厚生労働省専用第18～20会議室（17階）

議事次第

1. 地域医療指数について
2. 平成21年度調査の追加集計（案）
3. 平成22年度特別調査（案）



<委員>

氏名	所属等
相川 直樹	財団法人国際医学情報センター理事長
池上 直己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教授
伊藤 澄信	独立行政法人 国立病院機構 総合研究センター 臨床研究統括部長
金田 道弘	社会医療法人緑社会理事長兼金田病院長
三上 裕司	日本医師会常任理事・特定医療法人三上会 総合病院東香里病院理事長
熊本 一朗	鹿児島大学医療情報管理学教授
○ 小山 信彌	東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科部長
齊藤 壽一	社会保険中央総合病院名誉院長
酒巻 哲夫	群馬大学医療情報部教授
鈴木 洋史	日本病院薬剤師会常務理事・東京大学医学部附属病院薬剤部教授
嶋森 好子	社団法人東京都看護協会会長
辻村 信正	国立保健医療科学院次長
難波 貞夫	富士重工業健康保険組合総合太田病院病院長
◎ 西岡 清	横浜市立みなと赤十字病院名誉院長
松田 晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教授
美原 盤	財団法人脳血管研究所附属美原記念病院院長
山口 俊晴	癌研究会有明病院消化器外科部長
山口 直人	東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学第二講座主任教授
吉田 英機	昭和大学医学部名誉教授

◎ 分科会長 ○ 分科会長代理

地域医療指数について

平成22年7月30日に告示された地域医療係数について、係数設定の基礎となった地域医療指数及びその内訳は別添の通り。

【参考】

○ 地域医療指数 = [以下の各項目の総ポイント数] (0~7ポイント)

① 脳卒中地域連携

地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料Ⅰまたは地域連携診療計画退院時指導料Ⅱの届出を4月14日までにを行っている(大腿骨頸部骨折に係る届出のみの場合を除く)。

② がん地域連携

がん治療連携計画策定料またはがん治療連携指導料の届出を4月14日までにしている。

③ 地域がん登録

所在する都道府県の地域がん登録事務局(都道府県の委託事業者を含む)に対して、過去1年間(平成21年4月~平成22年3月)の間にデータの提出を行っている。

④ 救急医療

医療計画上で定められている二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、拠点型又は共同利用型の施設、若しくは救急救命センターの指定を受けている。

⑤ 災害時における医療

DMAT(災害派遣医療チーム)の指定を受けている(少なくとも厚生労働省の指定研修を受講したチームが存在している)。

⑥ へき地の医療

へき地医療拠点病院の指定又は社会医療法人認可におけるへき地医療の要件を満たしている。

⑦ 周産期医療

総合周産期母子医療センター又は地域周産期母子医療センターの指定を受けている。

※①②は「当該点数を算定していること」で評価する、とされているが、機能評価係数Ⅱが平成22年改定で新設されたため、今回は届出を4月14日までにしていることで評価を行った。

(参考) 地域医療係数の分布

地域医療指数	地域医療係数	該当施設数
0	0.0000	37
1	0.0011	278
2	0.0023	406
3	0.0034	301
4	0.0046	194
5	0.0057	109
6	0.0068	60
7	0.0080	5
計		1390

No	施設名	地域医療 指数	臨症中 通院	がん連携	地域がん登録 件数	がん医療 連携	災害時に 対応できる	へき地の 医療	周産期医療
1	札幌医科大学附属病院	3	x	x	1,899	○	○	x	x
2	北海道大学病院	2	x	x	2,536	x	○	x	x
3	旭川医科大学病院	3	x	x	1,346	○	○	x	x
4	弘前大学医学部附属病院	2	x	x	3,507	x	○	x	x
5	岩手医科大学附属病院	4	x	x	1,585	○	○	x	○
6	東北大学病院	4	○	x	797	○	○	x	x
7	秋田大学医学部附属病院	3	x	x	606	○	○	x	x
8	国立大学法人山形大学医学部附属病院	4	x	x	1,130	○	○	x	○
9	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	3	x	x	-	○	○	x	○
10	筑波大学附属病院	3	x	x	950	x	○	x	○
11	自治医科大学附属病院	5	○	x	3,445	○	○	x	○
12	福協医科大学病院	5	○	x	2,157	○	○	x	○
13	国立大学法人群馬大学医学部附属病院	4	○	x	100	x	○	x	○
14	埼玉医科大学病院	4	○	○	x	-	○	x	○
15	新潟医科大学病院	2	x	x	x	-	○	○	x
16	千葉大学医学部附属病院	4	○	x	3,674	○	○	x	x
17	東京慈恵会医科大学附属病院	3	○	x	x	-	○	x	○
18	東京医科大学病院	4	○	x	x	-	○	○	x
19	東京女子医科大学病院	4	○	x	x	-	○	○	x
20	慶應義塾大学病院	3	○	x	x	-	○	x	○
21	日本医科大学付属病院	2	x	x	x	-	○	○	x
22	順天堂大学医学部附属順天堂医院	2	x	x	x	-	○	x	x
23	昭和大学病院	4	x	○	x	-	○	○	x
24	慶応大学医療センター大森病院	4	○	x	x	-	○	○	x
25	日本大学医学部附属板橋病院	5	○	○	x	-	○	○	x
26	帝京大学医学部附属病院	5	○	○	x	-	○	○	x
27	杏林大学医学部付属病院	5	○	○	x	-	○	○	x
28	独立行政法人国立がん研究センター中央病院	0	x	x	x	-	x	x	x
29	東京医科大学医学部附属病院	2	○	x	x	-	○	x	x
30	東京大学医学部附属病院	3	○	x	x	-	○	x	x
31	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	5	○	○	1,915	○	x	x	○
32	北里大学病院	5	○	x	2,808	○	○	x	○
33	東海大学医学部附属病院	6	○	○	2,502	○	○	x	○
34	聖マリアンナ医科大学病院	5	○	x	1,665	○	○	x	○
35	新潟大学医学部附属病院	4	x	x	2,072	○	○	x	○
36	国立大学法人富山大学附属病院	3	x	x	1,492	○	○	x	x
37	金沢医科大学病院	3	x	○	442	x	○	x	x
38	金沢大学附属病院	1	x	x	x	-	x	○	x
39	福井大学医学部附属病院	4	x	○	864	○	○	x	x
40	山梨大学医学部附属病院	3	x	x	1,290	○	x	x	○
41	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	5	○	x	719	○	○	x	○
42	国立大学法人 岐阜大学医学部附属病院	4	○	x	2,421	○	○	x	x
43	浜松医科大学医学部附属病院	4	x	○	x	-	○	○	x
44	名古屋市立大学病院	2	○	x	1,708	x	x	x	x
45	藤田保健衛生大学病院	4	x	○	1,962	○	○	x	x
46	愛知医科大学病院	4	○	x	1,124	○	○	x	x
47	名古屋大学医学部附属病院	1	x	x	1,463	x	x	x	x
48	国立大学法人三重大学医学部附属病院	4	○	x	x	-	○	○	x
49	滋賀医科大学医学部附属病院	5	○	○	940	○	○	x	x
50	京都府立医科大学附属病院	3	x	x	28	○	x	x	○
51	京都大学医学部附属病院	4	x	x	582	○	○	x	○
52	大阪医科大学附属病院	6	○	○	2	○	○	x	○
53	大阪市立大学医学部附属病院	4	x	○	708	○	○	x	x
54	関西医科大学附属枚方病院	5	○	x	4,788	○	○	x	○
55	近畿大学医学部附属病院	6	○	○	1,514	○	○	x	○
56	独立行政法人国立循環器病研究センター	2	x	x	x	-	○	x	○
57	大阪大学医学部附属病院	4	x	x	2,085	○	○	x	○
58	兵庫医科大学病院	5	○	x	2,349	○	○	x	○
59	神戸大学医学部附属病院	3	x	x	2,235	x	○	x	○
60	奈良県立医科大学附属病院	3	x	x	x	-	○	○	x
61	和歌山県立医科大学附属病院	4	○	x	x	-	○	○	x
62	鳥取大学医学部附属病院	5	○	x	871	○	○	x	○
63	島根大学医学部附属病院	4	○	x	x	-	○	○	x
64	川崎医科大学附属病院	5	○	x	926	○	○	x	○
65	岡山大学病院	3	○	x	17	x	x	x	○
66	広島大学病院	6	○	○	1,656	○	○	x	○
67	山口大学医学部附属病院	5	○	x	1,507	○	○	x	○
68	徳島大学病院	4	○	○	x	-	x	○	x
69	香川大学医学部附属病院	4	x	x	2,368	○	○	x	○
70	愛媛大学医学部附属病院	3	x	x	1,112	x	○	x	○
71	高知大学医学部附属病院	4	x	○	3,164	○	○	x	x
72	福岡大学病院	3	x	x	x	-	○	○	x
73	久留米大学病院	4	x	○	x	-	○	○	x
74	産業医科大学病院	2	○	x	x	-	○	x	x
75	九州大学病院	3	x	x	x	-	○	○	x
76	佐賀大学医学部附属病院	3	x	x	1,359	○	○	x	x
77	長崎大学病院	6	x	○	1,313	○	○	○	○

Table with 11 columns: No., 施設名, 地域医療格次, 臨海中連携, がん連携, 地域がん連携, 救急医療, 災害時に
おける医療, へき地の医療, 周産期医療

Table with 11 columns: No., 施設名, 地域医療格次, 臨山中連携, がん連携, 地域がん連携, 救急医療, 災害時に
おける医療, へき地の医療, 周産期医療

Table with 12 columns: No, 施設名, 地域医療機能, 指定中, その他, 地域がん登録, 救急医療, 災害時に, その他, 周産期医療. Rows 869-946.

Table with 12 columns: No, 施設名, 地域医療機能, 指定中, その他, 地域がん登録, 救急医療, 災害時に, その他, 周産期医療. Rows 947-1025.

No.	施設名	地域医療 指針	指定中 施設	がん連携 施設	地域がん委員 在籍	救急医療 連携	災害時 対応医療	～その他 医療	併設施設
1342	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1343	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1344	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1345	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1346	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1347	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1348	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1349	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1350	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1351	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1352	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1353	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1354	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1355	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1356	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1357	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1358	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1359	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1360	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1361	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1362	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1363	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1364	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1365	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1366	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1367	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1368	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1369	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1370	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1371	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1372	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1373	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1374	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1375	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1376	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1377	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1378	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1379	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1380	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1381	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1382	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1383	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1384	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1385	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1386	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1387	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1388	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1389	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						
1390	医療法人 安心会 埼玉東部医療センター		○						

診調組 D-2
22. 8. 3

平成 21 年度調査の追加集計 (案)

- 平成 21 年度調査報告については、先般 (平成 22 年 6 月 30 日)、病院別の状況や診断群分類別の状況等について集計結果を報告したところ。
- 今回、DPC 制度導入影響の評価を目的として、更に以下のような追加集計を行うこととする。

1. 新たな病院類型等によるクロス (再) 集計

- 病院の特性等による違いを評価するため、以下のような施設類型等により階層化した再集計を行う。

番号	類型	具体的な分類	集計項目
1-1	病床規模	100 床未満、100～199 床、200～299 床、300～399 床、400～499 床、500 床以上	平均在院日数、救急車搬送数・率、緊急入院数・率、再入院率、再転棟率 (但し 1-2 病床構成のみ)、退院時転帰、退院先、紹介率
1-2	病床構成	DPC 算定病床比率 (60%未満、60～80%未満、80～100%未満、100%)	
1-3	診療機能等	総合病院、専門病院、がん専門病院、特定機能病院、地域医療支援病院、大学病院、がん拠点病院、社会医療法人	
1-4	年齢階級	15 歳以下、16～49 歳、50～64 歳、65～74 歳、75 歳以上	

2. 新たな視点等にもとづくクロス（再）集計等

- 以下のような視点に基づくクロス（再）集計等を行う。

(1) 診療内容の変化

番号	指標	評価の視点
2-1-1	再入院率×再転棟率	○再入院率と再転棟率との間で相関があるか。
2-1-2	退院時転帰×再入院率（クロス集計）	○退院時転帰が再入院率に影響しているか。
2-1-3	退院先×再入院率（クロス集計）	○退院先が再入院率に影響しているか。

(2) 診療プロセスの変化

	指標	評価の視点	備考
2-2-1	病床稼働率	○病床稼働率に施設特性や患者構成の影響はないか。	1.の新たな類型も適用
2-2-2	後発医薬品採用率（金額ベース）	○包括評価により後発医薬品の普及が促進されたか。	
2-2-3	化学療法、放射線療法、手術の実施～	○予期された再入院で多数を占める化学療法・放射線療法の実態はどのように変化しているか。	
2-2-5	①実施件数／実施率の経年変化 ②入院期間（手術の場合は術前入院日数・術後の入院日数）の経年変化 ③件数／実施率の高いプロトコル／術式の内訳と経年変化	○入院件数の拡大に合わせて手術等の必要とされている治療の実施が拡大しているか。 ○実施されている術式やプロトコル等が技術革新を反映しているか。	
2-2-6	医療従事者あたりの労働量（入院件数、手術数等）の調査	○医療従事者の業務負担は増えているのではないか。	

2

診調組 D-3
22.8.3

平成 22 年度特別調査（案）

- 平成 22 年度の特別調査は以下のような内容について実施する。

1. DPC 制度導入影響の評価

(1) 診療内容の変化

番号	指標	評価の視点	備考
3-1-1	再入院率・再転棟率及びその理由（目的）	○包括評価導入により診療の質が低下していないか。 ○再入院の増加理由について、同一疾患や続発症による場合と化学療法等の目的の場合等、再入院の理由（目的）を更に評価。	調査票については今後、更に検討

※ これまで指摘された施設特性に応じた再入院率の分析等は平成 21 年度追加分析で実施する新たな施設類型（診調組 D-2）の適用により対応。

(2) 診療プロセス・診療体制の変化

番号	指標	評価の視点	備考
3-1-2	外来における化学療法、放射線療法、短期滞在手術の実施状況（入院実施と合わせた分析・集計）	○再入院による化学療法・放射線療法が、外来での実施を抑制していないか。 ○化学療法・放射線療法・短期滞在手術の入院での実施と外来での実施について、地域や施設特性による違いはないか。	

2. 機能評価係数Ⅱを含めた診療報酬評価の在り方に関する調査

○ これらについては、今後の中医協（基本問題小委員会及びDPC評価分科会）での検討結果を踏まえ、改めて実施する。

(1) 機能評価係数Ⅱ

番号	調査項目	調査の視点
3-2-1	機能評価係数Ⅱ（6項目）に関する調査	○機能評価係数Ⅱ（6項目）の評価は妥当か（例：外来救急医療機能も含めた医療機関の救急医療機能の評価など）。 ○機能評価係数Ⅱの導入による行動変容等の影響は適切か。
3-2-2	今後更に導入を検討すべき事項に関する調査	（通常調査で得られないデータがあれば必要に応じて今後調査。）

(2) 算定ルールの妥当性に関する調査

番号	調査項目	評価の視点
3-2-3	診断群分類の妥当性	○現行の診断群分類の設定は妥当か。
3-2-4	包括範囲の妥当性	○包括範囲の設定は妥当か（特に高額薬剤の取扱い）。